

働きがいのある職場づくり

日軽金プライド・社会貢献プロジェクト

2024年度は「大人向けファミリー見学会」を新たに開催したほか、車いすラグビー*日本代表の池崎大輔氏に対するパリ国際大会壮行会および金メダル獲得を祝う祝勝会を実施しました。さらに山口県下関市主催の「インクルーシブスポーツフェスタinしものせき2024」の開催に協力するなど、地域の障がい者スポーツ支援に取り組みました。今後もイベントの回数や開催拠点の拡大を通じて、従業員が社会貢献の喜びを実感し、当社グループで働く幸せ(日軽金プライド)を感じられるように活動の浸透を図っていきます。

* 当社グループは、日本車いすラグビー連盟のオフィシャルパートナーです。



池崎選手祝勝会



大人向けファミリー見学会

従業員エンゲージメント

当社グループは「従業員意識調査」を実施しており、グループ全体ならびに会社、職場単位の傾向と課題を把握することで、従業員エンゲージメントの向上策に取り組んでいます。2024年度の「従業員エンゲージメントスコア」は3.38となっており、グループ全体で実施した影響もあり、2023年度日本軽金属単体の実績(3.42)を下回る結果となりました。

また、属性別の分析では、現業職比率の高い会社や職場においてエンゲージメントスコアが低い傾向になっていることが分かりました。

今後は、こうした分析結果を踏まえ、現業職を含む多様な職種・職場環境に応じた施策の強化を図っていきます。具体的には、職場ごとの課題に即したワークショップ研修の実施や現業職場における取組みの好事例展開などを予定しています。さらに、職場リーダーへ調査結果のフィードバック研修の実施と職場展開を行うことで、従業員の納得感と参画意識を高め、働きがいのある職場づくりを加速させていきます。

なお、日本軽金属㈱では、第1回調査の結果を受けて、若手社員のチャレンジ意欲を高めることを目的に、2025年度から社内公募制度を導入しました。これにより、従業員が自らの意思で新たな業務に挑戦できる機会を提供し、キャリア形成とエンゲージメントの向上を図っています。



健康経営

「働きやすさ」と「働きがい」を実現するためには、従業員の心身の健康が基盤となるため、グループ各社では、健康経営を推進しています。

2024年度は(株)東陽理化学研究所が「健康経営優良法人2025(中小規模法人部門ブライト500)」の認定を取得しました。また、日本フルハーフ(株)も「健康経営優良法人2025(大規模法人部門)」に認定されました。今後も各事業所の健康増進施策や認定取得を促進し、健康経営を経営戦略として位置付け、理想的職場づくりを進めていきます。



VOICE

日軽金グループ初!「健康経営優良法人ブライト500認定」取得

当社は、2022年より従業員一人ひとりの健康保持・増進を経営上の重要課題と位置づけ、すべての従業員が健康に安心して働く職場環境の整備に取り組んできました。具体的な取組みとしては、人間ドックの費用全額補助による、疾病の早期発見・予防促進や、定期的な健康意識調査の実施による個別ニーズの把握、また、夏季における熱中症対策として、清涼飲料水を支給するなど、現場における身体的負担の軽減にも継続的に取り組んでいます。これらの施策は当社公式SNS等を通じた社外への情報発信により、採用活動の強化にも寄与しています。今後とも、社員一人ひとりの健康と幸せを追求し、生産性向上と企業価値の一層の向上を目指していきます。



(株)東陽理化学研究所
総務人事部
成沢 輝彰